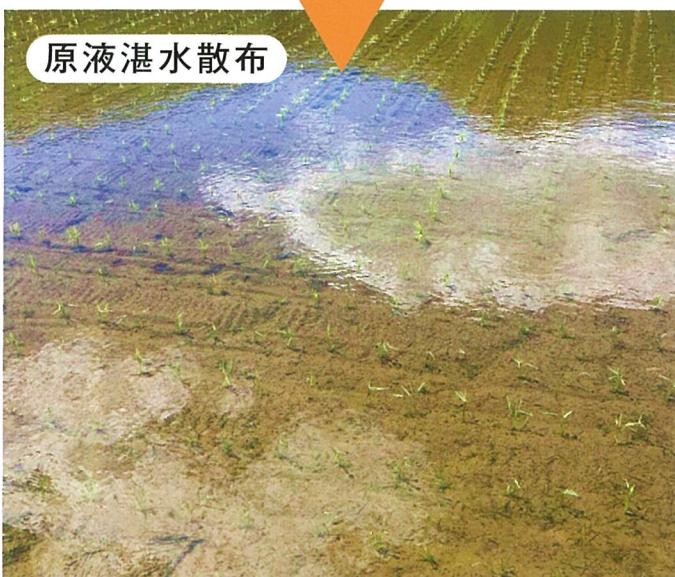


一発剤・中期剤と体系処理 雑草及び藻類の初期発生対策に!



クリアホープ® フロアブル

藻類に対する効果



**水田内の問題雑草
(ノビエ・ホタルイ等) +
アオミドロ・藻類の発生
表層はく離**

2019年度 試験地:高山市一之宮町 面積:10a
処理日:5/13 代かき後 クリアホープフロアブル (500mL/10a)
5/23 田植え (一発処理除草剤散布)
調査日:5/29 クリアホープフロアブル (散布後16日)



上手な使い方



● 幅広い殺草スペクトラム

移植前・後の使用で、ノビエ、コナギ、アゼナ類、マツバヤ、ホタルイ、ミズガヤツリ、ヘラオモダカ、藻類・表層はく離等、各種水田雑草の初期発生を抑えることができます。

● 藻類・表層はく離に卓効、速効的

藻類・表層はく離に卓効を示すとともに、極めて速効的に藻類を褐変・枯殺します。

● 水中拡散性に優れる

ACNを含有する初めてのフロアブル剤で、水中拡散性に優れます。

● SU抵抗性雑草に有効

コナギ、アゼナ類、ホタルイ等のSU抵抗性雑草に高い効果を示します。



科研製薬株式会社

®は科研製薬(株)の登録商標

水口施用での拡散性



- ①処理時の水深は1~3cm程度にしておきます。
 - ②内蓋をとり、水口部分からの水の流入にあわせて、30秒~1分程度かけてゆっくり流しこみます。
 - ③処理後、給水は5~6cm程度の湛水深になるように調整します。
 - ④処理後は通常の水管管理を行ってください。
- 薬剤を流す時は、**水口部分から30~50cmの高さを保ってゆっくり流す**ようにしてください。
●モグラの穴に気をつけてください。

適用雑草と使用方法

作物名	適用雑草名	使用時期	10アール当たり 使用量	使用方法	
移植水稻	水田一年生雑草、及び マツバイ ホタルイ ヘラオモダカ ミズガヤツリ アオミドロ・藻類による表層はく離	植代後～移植前7日又は 移植直後～ノビエ1葉期 ただし、移植後30日まで	500ml	原液湛水散布 又は水口施用	
				田植同時散布機で 施用	
本剤のみを使用する場合の 使用回数	1回	ペントキサゾンを含む 農薬の総使用回数	2回以内	ACNを含む 農薬の総使用回数	3回以内

●ペントキサゾン…4.0% ●ACN…18.0%



使用上の注意

稻への付着性が高いため、**薬剤が葉につくと、薬剤付着部分より先端部において褐変症状を起こす可能性があります。**



外葉は枯れることもありますが、新葉には影響がなく徐々に回復するため、収穫量には影響しません。



オレンジ色のため付着が目立ちます。

散布時に衣服や靴に薬剤がかからないように注意しましょう。



残渣(キャリア)が溶け残ることがあります。

残渣(キャリア)が溶け残ることがありますが、有効成分は拡散しているので心配ありません。



●ラベルをよく読んでください。●ラベルの記載以外には使用しないでください。●小児の手の届く所には置かないでください。

●空瓶は圃場等に放置せず、3回以上水洗いし、適切に処理してください。洗浄水は圃場等で使用してください。●本剤は衣服等への付着が目立つため、注意して散布してください。



科研製薬株式会社

東京都文京区本駒込二丁目28番8号

KAKEN

<https://www.kaken.co.jp>